

〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 197 (通算 511 回)

2011 年 12 月 12 日 (月)

自校愛ネットによる専願者を大切に——

新・学生募集確保策の発想・工夫と展開Ⅱ

高等教育活性化シリーズ 202 (通算 516 回)

2011 年 12 月 22 日 (木)

個別大学戦略としての春・秋入学のウエイト——

秋入学制度の本格導入方策と留意点

自校愛ネットによる専願者を大切に——

新・学生募集確保策の発想・工夫と展開Ⅱ

～ダイレクト広報による経費減/入試スリム化による教員負担減～

- ※ 本来に必要な情報/脱就職率の出口評価/めんどうみ VS 自立支援/広報・募集に戦略を
- ※ 社会性を伴う教学創造/関係性の募集力/高大接続～一貫・附属・系列・連携/校友会の活力
- ※ 入試のスリム化/AOの神髄/特別選抜の学力担保策/脱個別学試/学力評価インフラの活用
- ※ EMの課題/学びのデザインからポートフォリオへ/初年次からのキャリア教育/ピア・サポート

● 講師陣 ●

山内 太地 氏 / 大学研究者・フリージャーナリスト
志垣 陽 氏 / (学) 追手門学院初等・中等事務部長、法人事務局次長
出光 直樹 氏 / (公) 横浜市立大学アドミッションズセンター 学務准教授
小畑 力人 氏 / (国) 和歌山大学学長補佐・観光学部教授

☆懇談・パーティ☆

講師陣を囲んで

2011 年 12 月 12 日 (月) 中央大学駿河台記念館 会議室 (東京・お茶の水)

個別大学戦略としての春・秋入学のウエイト——

秋入学制度の本格導入方策と留意点

～修業年限3～5年の弾力化/ギャップイヤー・留学としての活用～

- ※ 東大の議論から/秋入学の歴史/海外事情～グローバル対応/ギャップイヤー/秋定着の条件
- ※ ギャップイヤー入学・1年留学の仕組みと成果/半年間の身分/半年・1年の卒業遅れは不利ではない
- ※ 5年制大学システムによる活路/山積する諸課題を拓く/入学後・社会体験～最後・就職活動
- ※ 採用活動の早期化・長期化等の是正/正常な学習時間の確保/ミスマッチ解消/秋入学への期待

● 講師陣 ●

石塚 公康 氏 / 読売新聞 教育ルネサンス取材班 記者
町田 大輔 氏 / (公) 国際教養大学 副学長・事務局長
祖田 修 氏 / (国) 京都大学 名誉教授、前福井県立大学 学長
前原 金一 氏 / (公社) 経済同友会 副代表幹事・専務理事、前昭和女子大学副理事長

2011 年 12 月 22 日 (木) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会 高等教育情報センター

[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 197 新・学生募集確保策の発想・工夫と展開Ⅱ
2011年12月12日(月) 13:00~19:00

会場 : 中央大学駿河台記念館 会議室 (東京・お茶の水)

千代田区神田駿河台 3-11-5 TEL 03(3292)3111

(JR「お茶の水」駅徒歩3分、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B1 出口徒歩3分)

日時 : 高等教育活性化シリーズ 202 秋入学制度の本格導入方策と留意点
2011年12月22日(木) 10:00~16:40

会場 : 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声 CD 送付)
高等教育活性化シリーズ 197 新・学生募集確保策の発想・工夫と展開Ⅱ	44,000 円 (消費税込)	39,000 円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 202 秋入学制度の本格導入方策と留意点	41,000 円 (消費税込)	32,000 円(送料、消費税込) ※3講師分のみ配布

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。
受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替: 00110-8-81660
口座名 (株)地域科学研究会
(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2011年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 197 新・学生募集確保策の発想・工夫と展開Ⅱ
 当日参加 メディア参加
 ■ 高等教育活性化シリーズ 202 秋入学制度の本格導入方策と留意点
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類(□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00) 14:00	<p>□ ユニバーサル全入期の広報・募集の戦略発想 ～貴大学のこんな情報を高校生は待っている～</p> <p style="text-align: right;">大学研究者 山内 太地</p> <p>1. 受験生の「お母さん」と「高校の先生」の本音を知っていますか？ (1) 「強者＝受験エリート」から、「弱者＝支援を必要とする学生」への転換 (2) 徹底的に「消費者のニーズ」に応じて大成功した中小私大の事例 (3) 「コミュニケーション力」のない受験生がやって来る！ (4) 大学も受験生も気づかない、本当に必要な情報</p> <p>2. 自校の「強み」と他校の「弱み」～選ばれる大学になる！～ (1) 米国では重視され、日本では誰も重視しない、大学選びの「指標」 (2) 経産省と経団連が大学教育に期待すること（採用側のニーズ） (3) 誰も気づかなかつた、いまだきの大学生のメンタルの変化 (4) 「出口評価」は、就職率や就職先のことではない</p> <p>3. 「めんどうみの良さ」VS「自立した学生を育てる」 (1) 自校の学生支援体制を再検討する (2) 教員の意識を変えないと本当の改革はできない (3) 学生を内定させるための8つの能力（ネタ作り） (4) 最後に一現在の高校1年生が就職するのは2018（平成30）年4月</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:10) 15:10	<p>□ 社会性を伴う教学創造こそが学生募集力 ～「関係性」に依拠した人財育成～</p> <p style="text-align: right;">追手門学院 志垣 陽</p> <p>1. 選抜入試の崩壊と学生との共生（ともいき） (1) 大学の「学び」と「公益性」 (2) 自己肯定感と関係性（共感なくして自尊なし） (3) キャリア形成と大学 (4) 学校評価・教員評価・研修制度</p> <p>2. 大学・学校の「場」の力 (1) 独立自強・社会有為 (2) 自校教育・キャリア教育・国際理解教育 (3) 「志」の教育と母校愛</p> <p>3. 学生募集の諸施策 (1) 一貫教育システム、附属・提携政策による囲い込み (2) 校友会・同窓会連携、高大連携諸事業等による入学者確保</p> <p>4. 社会的ネットワークの中の大学・学校 (1) 自校の卒業生は他校の支援者、自校の教職員は他校の卒業生 (2) ステークホルダーと連携した「学びの集団づくり」 (3) 卒業生個々との連携と校友会・同窓会支援 (4) 生涯の師や友と出会うかけがえのない母校</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:20) 16:20	<p>□ AO選考とともにポートフォリオ型一般入試への進化 ～脱個別学力試験／学力検査の工夫策～</p> <p style="text-align: right;">横浜市立大学 出光 直樹</p> <p>1. 米国型AO選抜の神髄－桜美林大学での経験から (1) 書類審査が基本 (2) 専門スタッフによる合議 (3) 総合的で政策的な判断</p> <p>2. 横浜市立大学の特別選抜における英語資格要件の整備 (1) AO入試 (2) 帰国生・留学生・社会人選抜 (3) 指定校推薦</p> <p>3. 学力評価インフラの活用とその課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:30) 17:30	<p>□ 募集・入学時における出口・就職の説明責任 ～エンrollment・マネジメントの取組から～</p> <p style="text-align: right;">和歌山大学 小畑 力人</p> <p>1. 今、大学の「入口」から「出口」の“実相”を考えて見る (1) 大学ユニバーサル時代にあっても大学合格（入学）の喜びと期待は変わらない (2) 受け入れた学生の「卒業率」と「就職率」 (3) この20年の大学の「入口」と「出口」の変化とエンrollment・マネジメントの課題</p> <p>2. 学士課程教育の構築と学生の就業力育成支援と言う課題 (1) 大学の「支援」と学生の「自主・自律」 (2) 初年次からのキャリア教育と一人ひとりの学生に届く支援システム (3) 「学びのデザイン」からポートフォリオへ (4) 学生による学生の支援、ピア・サポートとは</p> <p>3. 説明責任を果たせる「出口保証」をめざす現場からの報告 (1) 「就業力」の捉えと教育カリキュラム (2) 学生全員を掌握し、支援するシステムの必要 (3) 様々な「論点」と取組の推進、全ては学生のために</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
17:45) 19:00	<p>□ 懇談交流パーティ（明治大学駿河台校舎カフェパンセにて） ～各講師陣を囲んで～</p>

時間	講義項目
10:00 〃 11:20	<p>□ 秋入学制度の論点整理と定着条件の検討 ～グローバル・生涯学習社会と修業年限弾力化～</p> <p style="text-align: right;">読売新聞 石塚 公康</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東大の議論から見えること 2. 日本における秋入学の歴史 3. 海外大学の入学時期 4. 留学とグローバル化に関する議論と現況 5. ギャップイヤー導入をめぐる議論と現状 6. 秋入学定着の条件 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:30 〃 13:00	<p>□ [国際教養大] グローバル化の先端を走る—意味ある4～5年制 ～ギャップイヤー入学・1年留学の仕組みと成果～</p> <p style="text-align: right;">国際教養大学 町田 大輔</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際教養大学のコンセプト <ol style="list-style-type: none"> (1) 理念 (2) 教育目標 (3) 特色～1年次全寮制 (4) 入試制度 2. ギャップイヤー入試とその活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 半年間の身分 (2) 単位認定 (3) 事例 (4) 成果 3. 留学制度とその運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) 1年間の義務制 (2) 学期の区分 (3) 単位認定 (4) 成果 4. 就職活動への対応策と成果 ～半年・1年の卒業遅れは不利ではない～ <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 〃 15:20	<p>□ [提言] 5年制大学システムの意義と具体プラン ～入学後半年の社会体験/最後半年の就職活動～</p> <p style="text-align: right;">京都大学 祖田 修</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会の現実と就職問題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 厳しさ増す経済と社会 (2) 仕事なき若者と国の将来 2. 山積する大学教育の課題とその明確化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 入口段階 <ol style="list-style-type: none"> 1) 少子核家族の中での甘い家庭教育力 2) 高校進学90数%の中での基礎学力の低下 3) 大学進学50%超に対応した入学選考機能の問題点 (2) 中味段階 <ol style="list-style-type: none"> 1) 入学後の若者たちの勉学へのモチベーションの弱さ 2) 教育課程・履修システム・教員負担の問題 3) 就活早期化の中での実質3年弱の学修期間 (3) 出口段階 <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職情報産業による就活のマニュアル化 2) 内定の早期化による4年生後半の空洞化 3) キャリア教育・学士力保証の空転と未達成 3. 5年制大学システムによる活路 <ol style="list-style-type: none"> (1) 入学後6カ月～社会体験による総合的人間力の育成 (2) 実質4年間の学修～教養・専門基礎・専門教育の実質化 (3) 最後の6カ月～学士力のポートフォリオによる就職活動 4. 実現にあたっての課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 延長した1年間の授業料の補填策 (2) 半年の社会体験プログラムの設計力・綜括力 (3) 社会・産業界の4年卒業観の脱却 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 〃 16:40	<p>□ [産業界] 就職採用慣行の改革 ～正常な学習時間の確保、学生負担の軽減～</p> <p style="text-align: right;">経済同友会 前原 金一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 採用活動の早期化・長期化等の是正 2. 採用方法の多様化 3. ミスマッチ解消に向けた取組 4. 社会全体で行う人材育成 5. 秋入学への期待 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>